

南海天王寺支線

ふちんかん

天王寺支線の経歴

南海天下茶屋駅と国鉄天王寺駅を結ぶ 2.4km の複線路線。意外と歴史のある路線で 1900 年の開通です。なんと明治33年。現在の鉄道路線だけを考えるとあまり存在意義のなさそうな路線ですが、堺-天王寺間の貨物列車が運転されていたという記録があることから、当時は南海沿線から大阪駅方面への物資の移動には必須の路線だったと思われます。

→南海天下茶屋→天王寺支線→天王寺→城東線（現環状線の東部分）→大阪
という経路をたどっていたのでしょう。

しかし、昭和36年に国鉄の天王寺～西九条間が開業し大阪環状線が完成。昭和39年に国鉄新今宮駅が開業。南海も昭和41年に新今宮駅を開業。これによって南海-国鉄の直接連絡が可能になり、人員輸送という点での天王寺支線の存在意義が薄くなりました。

さらに追い打ちをかけるように、地下鉄堺筋線が天下茶屋まで延長されることになります。路線が被るということと堺筋線の延長工事に支障するという理由で、天下茶屋-今池町間の 1.2km が 1984 年(昭和59年)に廃止になります。

これによって天王寺支線は今池町-天王寺間 1.2km となり、南海から孤立した離れ小島状態となりました。部分廃止の際、残った区間に飛田本通駅が開設され、車両は両運転台の単行車両となりました。

ちなみにこの車両は以前取材で訪れた南海和歌山港線で活躍していたもの。逆に天王寺支線で使われていた2両編成の車両は和歌山港線へ移動しました（そのためホームの短かった水軒駅ではホームの延長工事も行われたそうです、WOO で取材したのはその後ですね）。



今池町駅（無断借用すまん）



天王寺支線で使われた車両と同型車両 水軒

そして 1993 年(平成5年)、地下鉄堺筋線が天下茶屋まで延長されたのを機に、残りの今池町-天王寺間もついに廃止。歴史ある南海天王寺支線は消滅しました。

わたしの思い出

高校生の頃(20年以上前ですな)天王寺支線が無くなるという話を聞いて、乗りに行ったことがあります。走行写真を撮ろうと今池町で降りて周囲を散策しました。当時はドヤ街ということも知りませんでしたので、正直、まあ臭くて汚いところだなあ、こういう所もあるんだなあと思いました。またカメラをぶら下げて歩いておりましたが、ひったかれるのではないかと感じたことも事実です。今になって振り返ると若かったなあと思いますが、多少の緊張感が必要なのは今も同じかもしれません……。

車に乗って移動するようになってからは(大学が天王寺でしたので)、天王寺駅から西へ延びる大きな道路に天王寺支線の踏切があったことを覚えています。踏切に小屋があって係員がいたように思います。遮断機はポール式でなく、ギロチンのように上から降りてくる形式でした。当時私はとても優秀?な学生でしたので、午前中は池田校舎で学び、昼の間に車で天王寺校舎へ移動するということもあり、急いでいる中、この踏切にはけっこうイライラさせられたことを覚えています。

廃線跡

鉄道敷地は車道などと比べると幅を取らないため、跡地の利用が難しいようですな。天王寺支線も天王寺駅前再開発に組み込まれていれば、巨大ビルの一部になって跡形も無くなっていたかもしれませんが、タイミングが合わなかったのでしょうか。現在も分かる形で鉄道跡が残っています。道路に面した部分は分断されて細長い敷地の駐車場として利用されているようです。また飛田新地あたりは遊歩道として整備されました。ただ(おそらく)浮浪者対策から、せっきく整備された遊歩道も現在は立ち入り禁止となっており猫の住処になっているようです。



遊歩道整備直後(無断借用すまん)



現在の様子